

LANTHERMO

取扱説明書

MedVigilance Inc.

目録

1 はじめに

1.1 安全にお使いいただくために.....	4
1.2 製品の構成.....	6
1.3 各部の名前.....	7
1.4 タブレットの操作について.....	8
1.5 取扱説明書について.....	8

2 使用前の準備

2.1 消毒液タンクに消毒液を補充する.....	9
2.2 消毒液ディスペンサーにトレーを取り付け、電源を入れる.....	10
2.3 本体に電源を入れる.....	11

3 検温の方法

機能説明.....	12
-----------	----

4 タブレット PC の角度調整機能

機能説明.....	13
-----------	----

5 管理（者）機能について

5.1 管理画面に入る方法.....	15
5.2 機能説明.....	16
5.3 ユーザー管理について.....	17
5.3.1 機能説明.....	17
5.3.2 ユーザー登録の方法.....	18
5.3.3 ユーザー管理の方法.....	19
5.3.4 ユーザーデータのインポート・エクスポートの方法.....	20
5.4 通行記録について.....	21
5.4.1 機能説明.....	21
5.4.2 記録の検索方法.....	22
5.4.3 記録のエクスポート.....	23
5.5 顔認証設定について.....	24
5.5.1 機能説明.....	24
5.5.2 各設定項目の説明.....	24
5.6 検温設定について.....	25

5.6.1 機能説明.....	25
5.7 ソフトウェア設定について	27
5.7.1 機能説明.....	27
5.7.2 管理者パスワードの変更	27
5.7.3 言語の切替.....	28
5.7.4 案内モード - ①.....	29
5.7.4 案内モード - ②.....	30
5.7.5 LOGO の表示	31
5.7.6 スクリーンセーバー	32
5.7.7 ソフトウェアの更新（オンライン）	33
5.7.7 ソフトウェアの更新（ローカル）	34
5.8 システム設定について.....	35
5.8.1 Wi-Fi.....	35
5.8.2 有線 LAN.....	36
5.8.3 システム日付と時刻 - ①	37
5.8.3 システム日付と時刻 - ②	38
5.8.4 システム音量と画面の明るさ.....	39
5.8.5 デバイス情報.....	40

6 製品仕様

6.1 仕様一覧.....	41
----------------------	-----------

1 はじめに

1.1 安全にお使いいただくために

このたびは LANTHERMO をご購入いただきありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

電源プラグ・AC アダプターについて

- 痛んだり、コンセントへの差し込みが緩いときは使用しないでください。感電やショートのおそれがあります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。
- 専用の AC アダプター以外は使用しないでください。
- 専用の AC アダプターを他の商品に使用しないでください。
- 必ず交流 100V ~ 110V で使用してください。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。
- AC アダプターや器具用プラグを抜くときは、コードを持たずに AC アダプターや器具用プラグを持って抜いてください。

タブレットについて

- 先の尖ったものの液晶ディスプレイの表面に傷をつけないでください。
- 液晶ディスプレイ表面や外枠部分を強く押さないでください。
- 液晶ディスプレイの表面ガラスの取扱に注意してください。
- 本体を分解し、内蔵しているバッテリーを分解、改造しないでください。
- 本体を落下させる、ぶつける、先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。
- 電源を入れた直後、高めの検温結果が表示される可能性があり、検温結果が安定するまで約 20 分かかります。

消毒液ディスペンサーの取扱いについて

- 破裂・発火・火災の恐れがあるため、火気を絶対に近づけないでください。
 - ディスペンサーを分解・改造しないでください。
 - 高温や高湿、ホコリの多いところ、酸、アルカリ、油を使う場所では使用しないでください。
 - 振動、衝撃の多い場所、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
 - ディスペンサーをシンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
 - センサー部に液がかからないようにしてください、センサーが反応しなくなる恐れがあります。
 - 専用の AC アダプター以外は使用しないでください。
 - 専用の AC アダプターを他の商品に使用しないでください。
 - AC アダプターや器具用プラグを抜くときは、コードを持たずに AC アダプターや器具用プラグを持って抜いてください。
-

個人情報の取扱いについて

本製品をご使用になると、次のような個人情報が記録されます。

- LANTHERMO 本体メモリーにはユーザーや来客の撮影画像、氏名、電話番号、性別などのデータ

これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

データのバックアップについて

次のような状況になると、本製品内のデータが消失してしまう場合があります。

- 不用意に個人情報や通行履歴を削除してしまった場合
- 工場出荷時の状態に復元や、ソフトウェアの再インストールを実施した場合
- ソフトウェアやハードウェアの障害が発生しデータが破損した場合

お客様のデータが消失してしまった場合、データが復元できませんが、バックアップしたデータがあればお客様ご自身で元に戻すことができます。

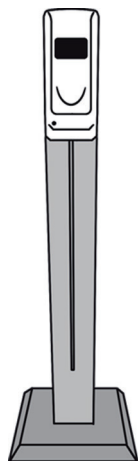
また、製品を新しく購入した場合に、バックアップしたデータを使用すれば、今まで使っていたデータを新しい製品にコピーすることができます。

万一の障害等で大切なデータを失わないように、定期的にバックアップを行なってください。

また、本条はデータのバックアップや復元について記載していますが、バックアップや復元を完全にできることを保証するものではありません。本製品に記録されたデータの保全管理については、お客様の責任によって行なっていただきます。

1.2 製品の構成

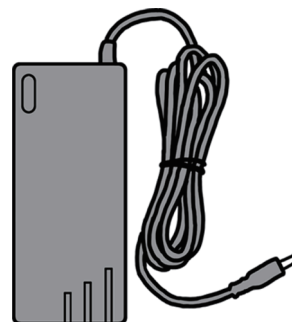
以下の製品が揃っているかどうか確認ください。



① スタンド



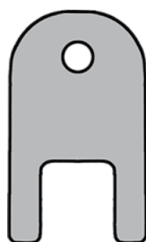
② 本体 (タブレット PC)
(スタンドに取り付け済)



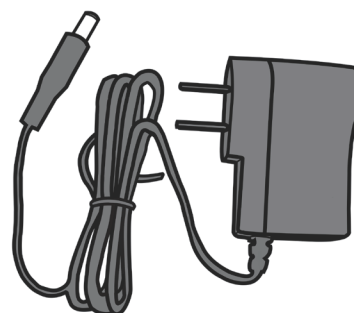
③ AC アダプター
(本体用・12V)



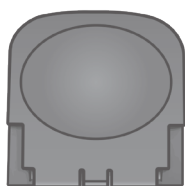
④ AC ケーブル



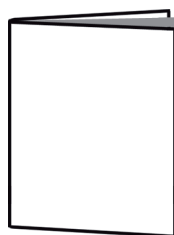
⑤ ディスペンサーの鍵



⑥ AC アダプター
(ディスペンサー用・6V)



⑦ ディスペンサーのトレイ

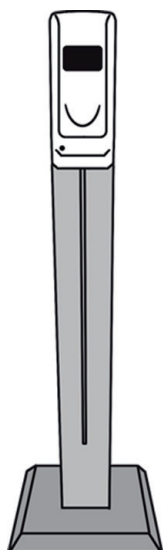


⑧ 取扱説明書、保証書

形状やデザインが本書と異なる場合がございます。

1.3 各部の名前

スタンド（標準型の場合）



- 上部:** 消毒液ディスペンサー
DC ジャック (6V DC 入力)
- 上部裏面:** USB ポート×1
- 中部:** スタンド柱 (LED ライト付き)
- 下部裏面:**
DC ジャック (12V DC 入力)
有線 LAN ポート
- 底部:** スタンド台

注 1: 卓上型では LED ライトが底部にあります。

注 2: スタンドの種類によって、上記以外にも標準型との相違点が御座います。

本体（タブレット PC）



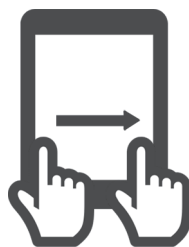
- 上部:** 赤外線検温モジュール (サーモカメラ)
- 中部:** タブレット PC
- 底部:** スタンドカバー (黒い金属板)
- 裏の軸部:** ネック

注 3: 卓上型ではスタンドカバーがありません。

1.4 タブレットの操作について



タップ
画面に軽く触れて離す



ドラッグ
画面に触れたまま指を動かす。



ロングタッチ
画面に長く触れる



ドラッグ&ドロップ
画面に触れたまま指を動かして離す

1.5 取扱説明書について



アプリ内

本書およびアプリ内の製品画像・イラスト・画面イラストなどは実物と多少異なることがあります。ご了承ください。

お使いの本機ソフトウェアのバージョンによっては本書およびアプリ内での記載画面と異なる場合があります。



取扱説明書

アプリの名称、アイコン、内容およびサービスは予告なく変更または終了されることがあります。本書の記載と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

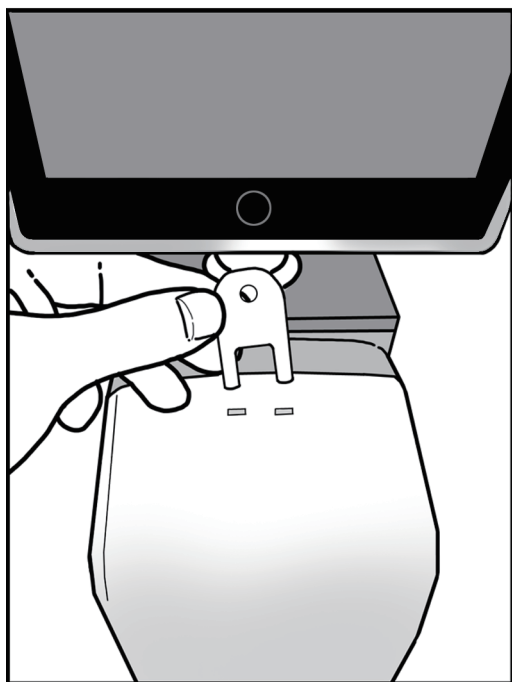
LANTHERMO 使用上の問題について、詳しくはWEBページにご参照ください。
<https://www.medvigilance.com/lanthermo> にアクセスまたは右のQRコードをさがしてください。



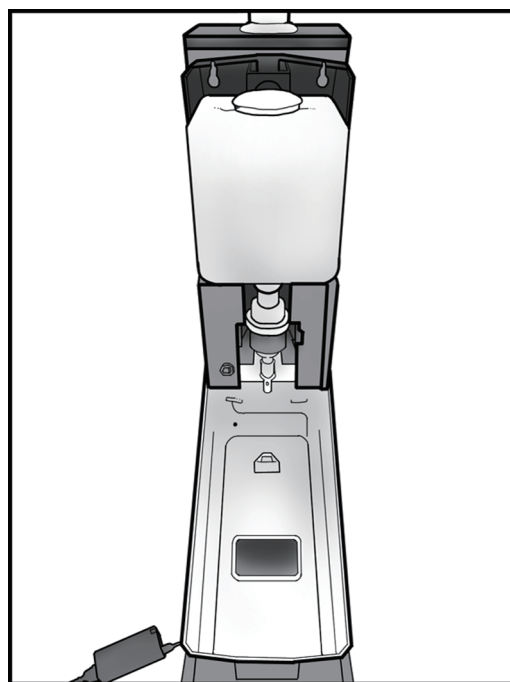
2 使用前の準備

2.1 消毒液タンクに消毒液を補充する

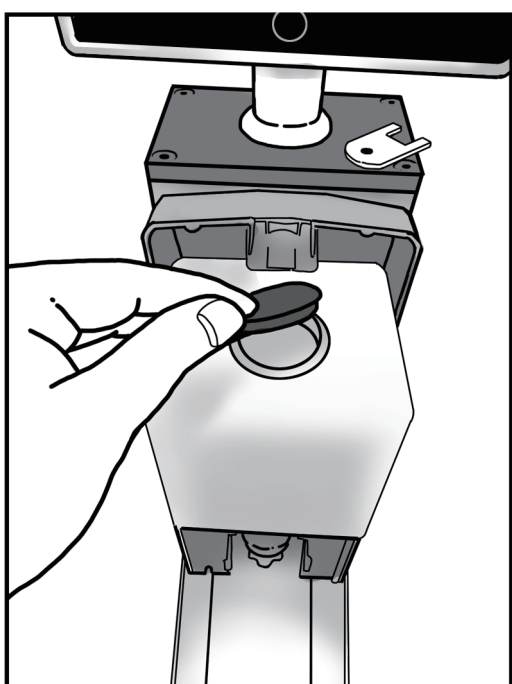
ディスペンサーの鍵を挿してカバーを開け、消毒液タンクのゴム蓋を開け、消毒液（濃度約70%のアルコール溶液を推奨）をタンクに注入し、蓋をしてカバーを閉じます。



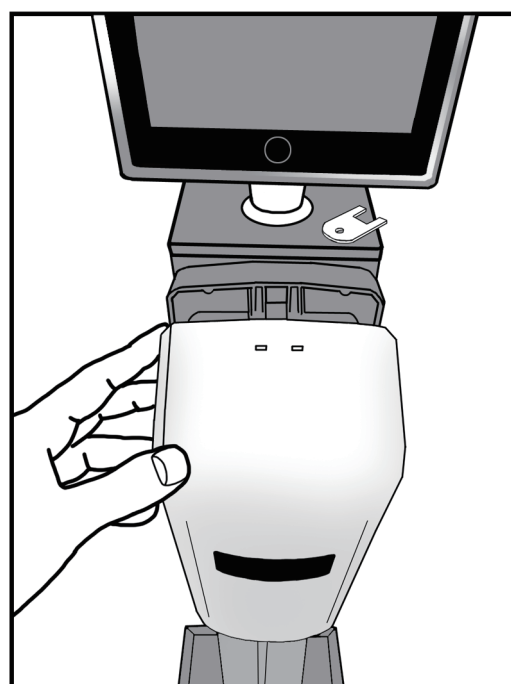
①



②

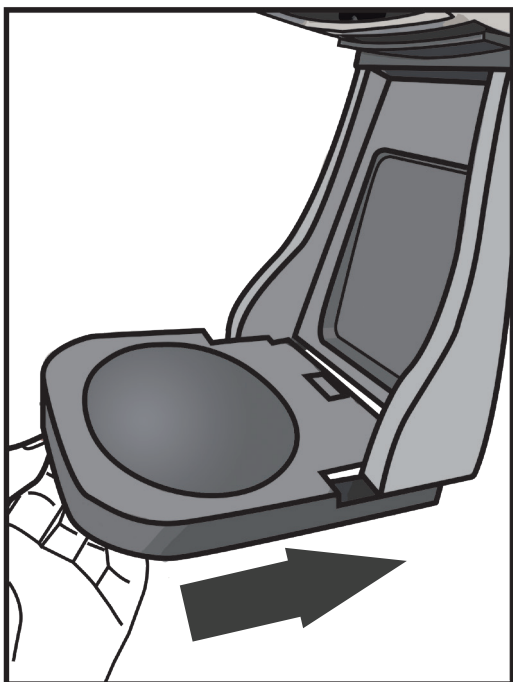


③

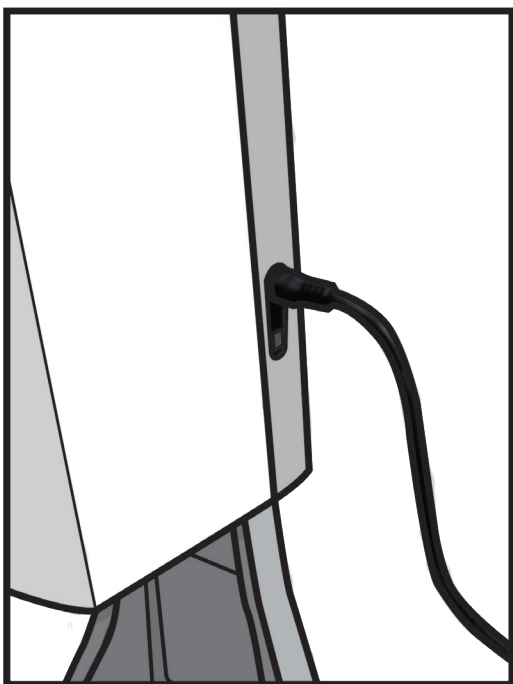


④

2.2 消毒液ディスペンサーにトレーを取り付け、電源を入れる



図示のように、トレーを消毒液ディスペンサーの下部に差し込みます。

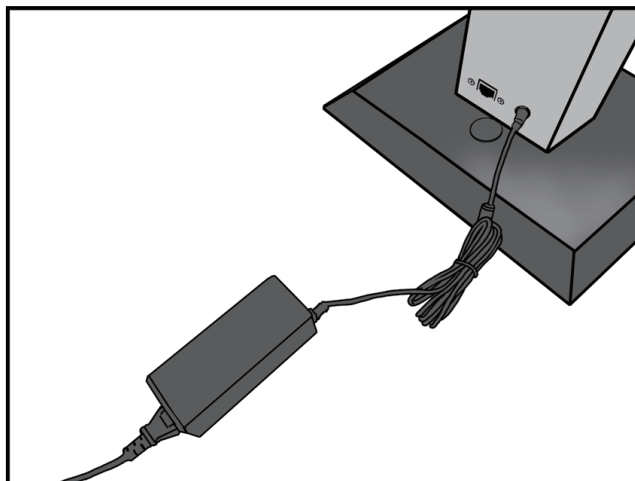


図示のように、6V 出力の AC アダプターの DC プラグを消毒液ディスペンサーの DC ジャックに差し込みます。DC ジャックの直下にあるスイッチを ON にします。

(ディスペンサー使用時、最初はノズルに空気が残っており、噴霧状にならないこともあります。数回消毒液を噴射後正常に戻ります。)

2.3 本体に電源を入れる

ACアダプターのプラグをスタンドの裏面下部にあるDCジャックに差し込めば電源がONになります。（スイッチはありません）



しばらくお待ちいただき、
下記のような画面が表示されれば起動は完了です。



3 検温の方法

機能説明

検温を行う際、顔がなるべく本体画面と平行するようにして下さい。
特に背の高い方は少々頭を下に向けて検温して下さい。



検温時の注意点：

「マスクをしたまま顔認証」を行う場合、鼻すじの上部（全体の1/3程度）を露出するようにして下さい。

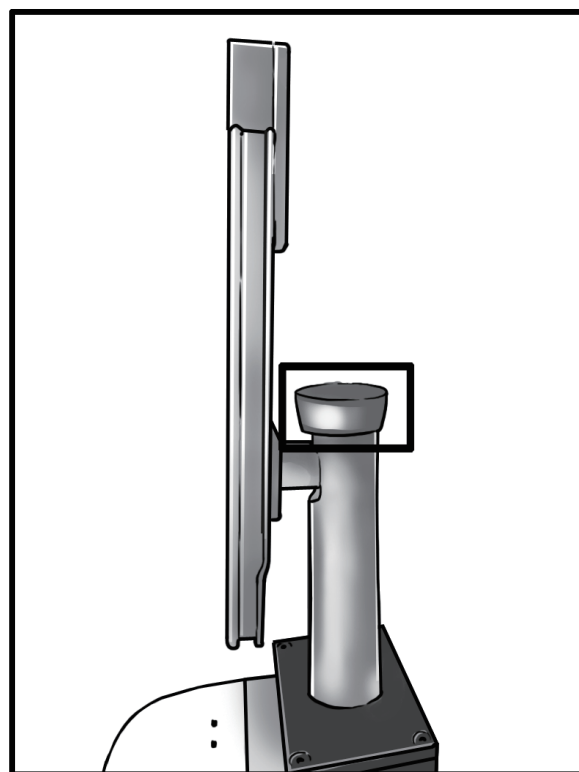
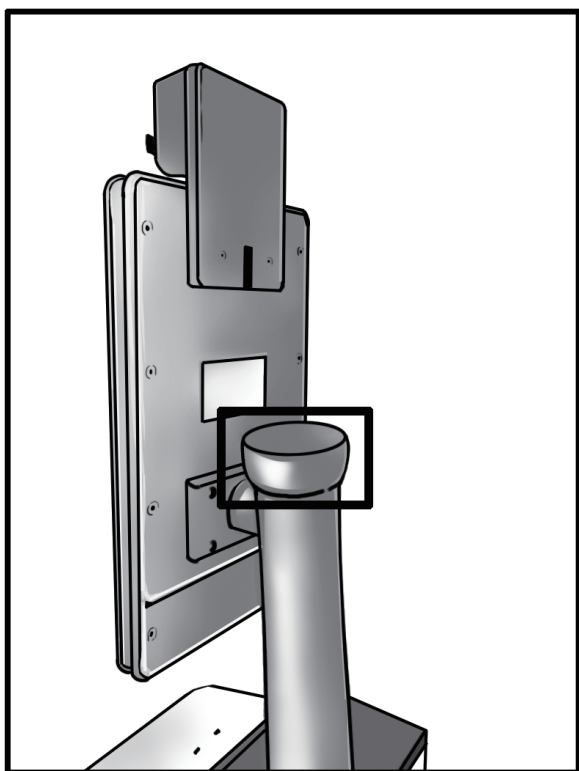
4 タブレット PC の角度調整機能

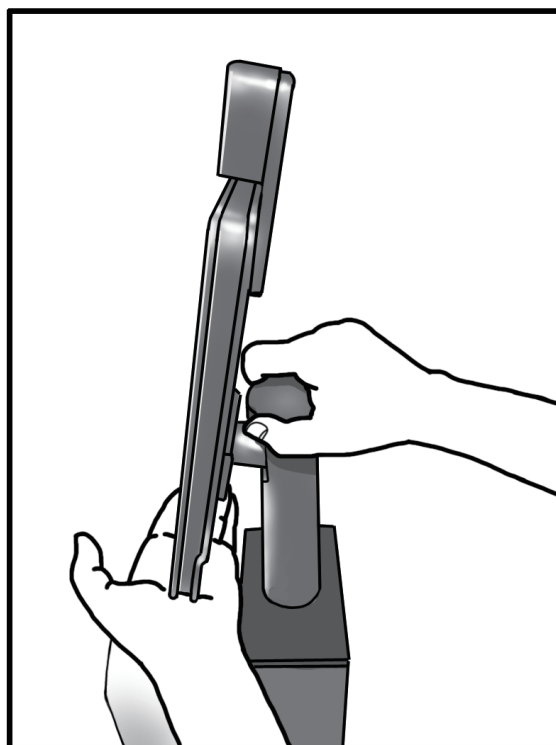
機能説明

本体画面の角度を調整する機能です。

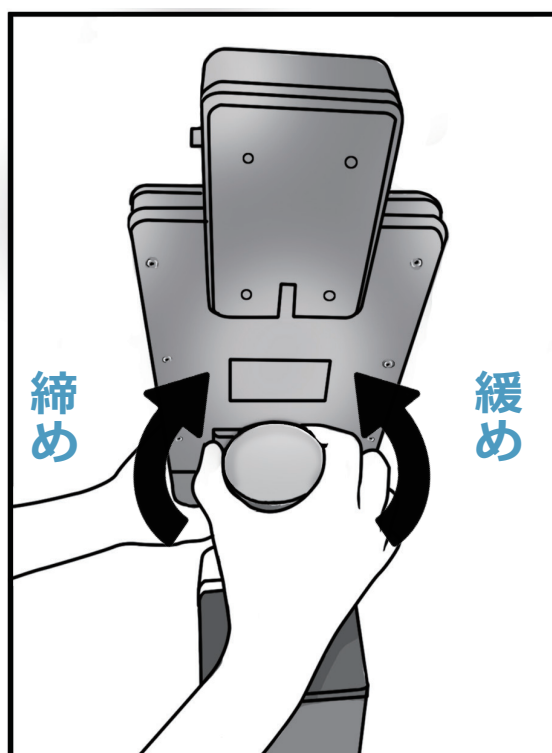
調整方法：

1. 本体のネック部は下図と同じ規格であるかどうかをご確認ください。違う場合は調整を中止してください。
2. 枠で囲まれた部分を片手で握ってください。同時に、もう片手はタブレット PC を下部を支えてください。





3. 赤枠で囲まれた部分を反時計回りに回転すれば、タブレット PC とネックの間が緩くなり、タブレット PC を支えた手で画面の角度が調整できるようになります。
4. 角度を調整したら、枠で囲まれた部分を時計回りに回転すれば、タブレット PC とネックの間は締まります。
5. これで、本体の画面角度の調整は完了です。

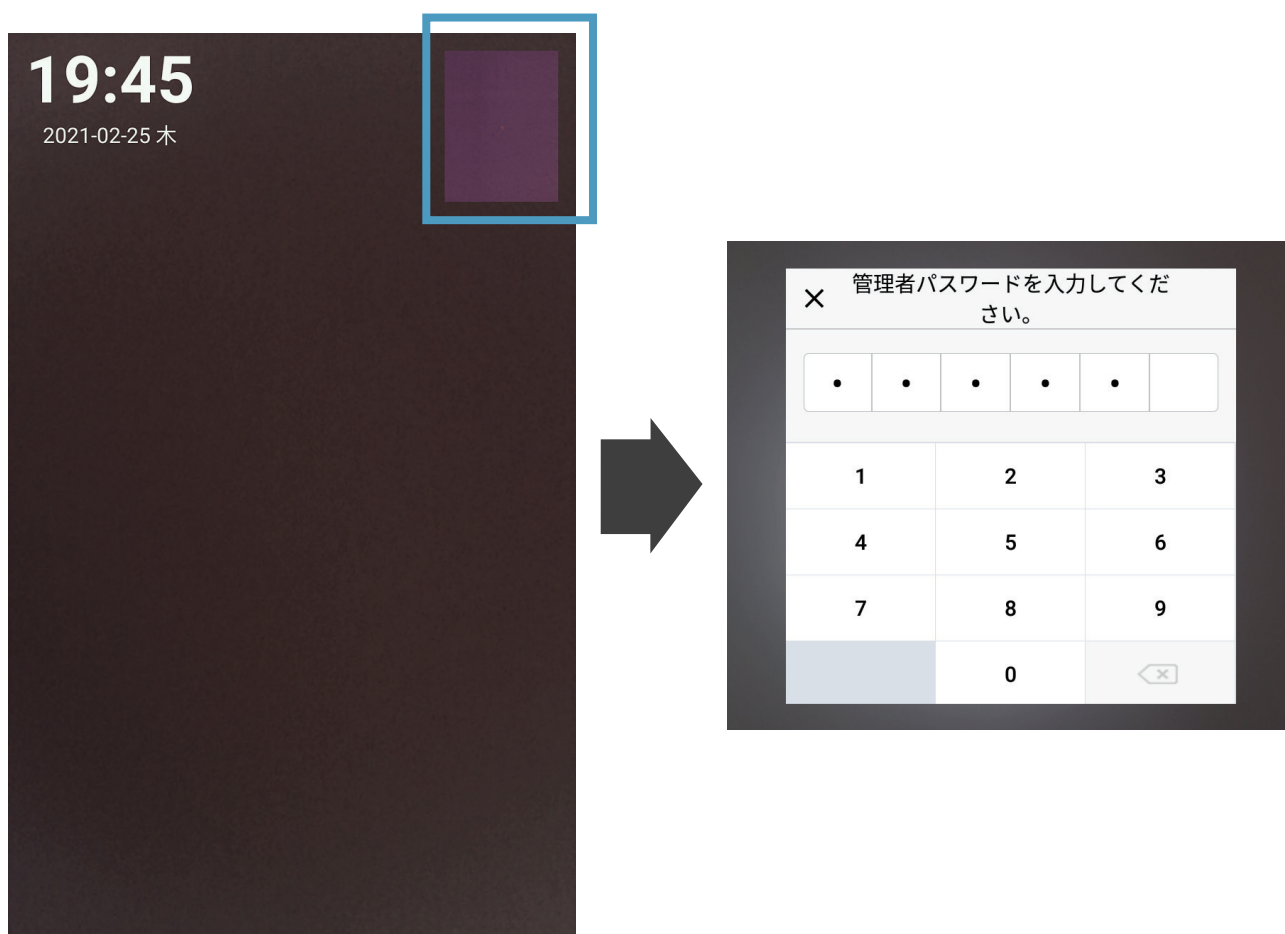


5 管理（者）機能について

5.1 管理画面に入る方法

検温画面で右上のサーモグラフィー画像の部分を長押しして、隠し画面のパスワード入力画面が表示されます。

管理者パスワード（デフォルトでは 123456）を入力すれば、管理画面に入れます。



LANTHERMO 本体タブレット PC（以下「本体」と略称）の【管理画面】には以下の項目があります。

- (1) ユーザー関連機能：「ユーザー管理」「通行記録」「顔認証設定」
- (2) 検温関連機能：「検温設定」
- (3) 動作環境関連設定：「ソフトウェア設定」「システム設定」

5.2 機能説明

設定の詳細については、下記の表をご参照ください。

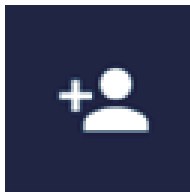
設定項目	説明
ユーザー管理	利用者の登録、情報編集、削除を管理する機能です。
通行記録	ユーザーの通行記録を確認する機能です。 ユーザー名、通行日時、体温などの情報が確認できます。 ユーザーの通過時間、体温を記録します。
顔認証設定	顔認証機能に関する設定を行います。
検温設定	適正体温の範囲、マスクの着用要請など、検温に関する設定を行います。
ソフトウェア設定	LANTHERMO ソフトウェアの基本設定で、管理者パスワード、表示言語、ロゴやスクリーンセーバーなどの設定ができます。
システム設定	タブレット PC の一般設定で、インターネット接続、時間、音量、画面の明るさなどの設定ができます。



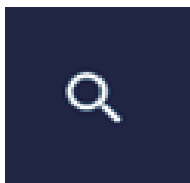
5.3 ユーザー管理について

5.3.1 機能説明

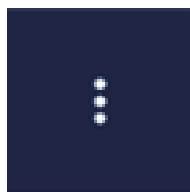
利用者に関する各種の設定及び管理を行う機能です。



- ① 「ユーザー登録」
新規にユーザーを登録します。



- ② 「ユーザー検索」
登録済のユーザーを検索したりします。

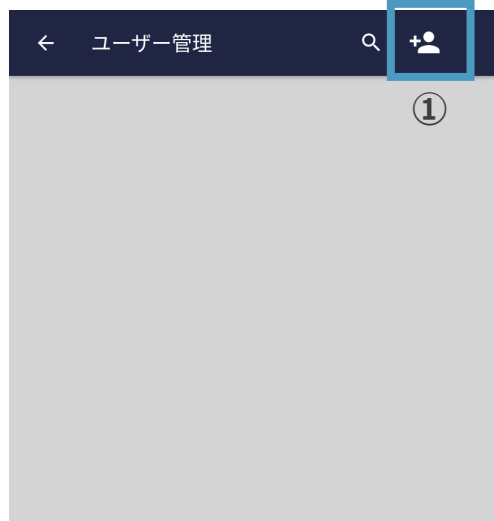


- ③ 「インポート・エクスポート・削除」
ユーザーのデータをインポート・エクスポートします。
また、ユーザー情報の削除もここでを行います。

各種設定項目の設定は次のページをご参考ください。

5.3.2 ユーザー登録の方法

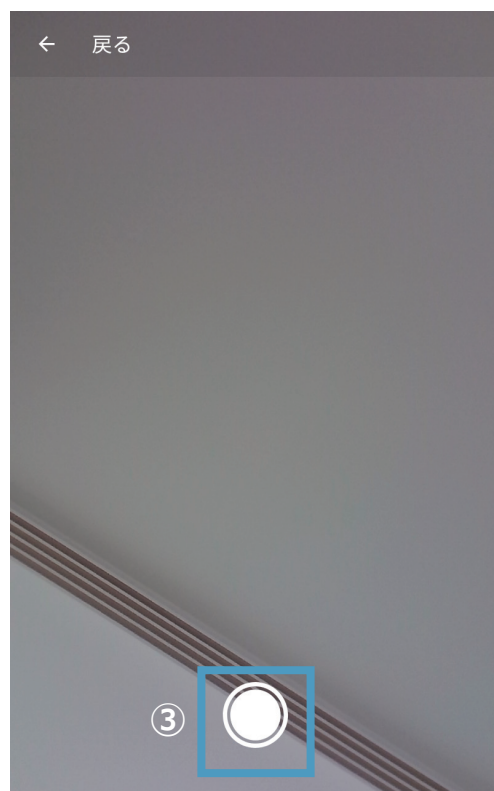
① 「管理画面」から、「ユーザー登録」  をタップしてください。



②  をタップして、顔の登録を行います。

③ 顔を画面に合わせ、「撮影」  ボタンをタップする。

④ 必要な情報を入力・選択し、「保存」をタップして、ユーザーの登録は完了です。



注：

似た顔の場合の登録について：ユーザーの登録において、顔認識システムが登録済と同一人物と判断した場合、「顔が重複しています」のよう、再登録不可の案内を表示します。

5.3.3 ユーザー管理の方法

特定のユーザーの情報を確認・編集したい場合、右上の「検索」ボタンをタップして、検索欄にユーザー名もしくはユーザー番号を入力して検索してください。

検索欄が空白の状態で見ると、全履歴がリストに表示されます。



ユーザー情報の編集・削除する場合、検索したユーザーの情報をタップし、必要な情報を入力して、画面右下の「保存」をタップすれば、ユーザー情報を修正できます。

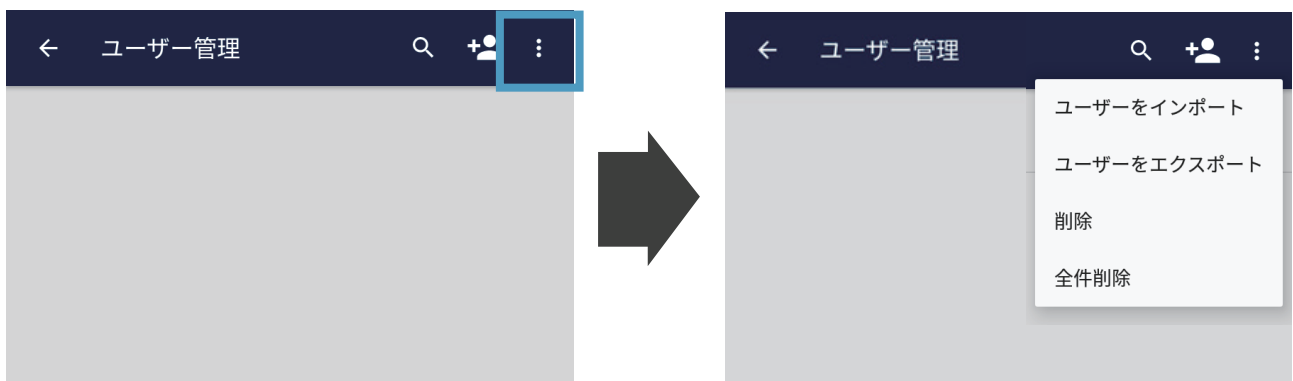
削除する場合、画面左下の「削除」をタップすれば、ユーザー情報が削除されます。

5.3.4 ユーザーデータのインポート・エクスポートの方法

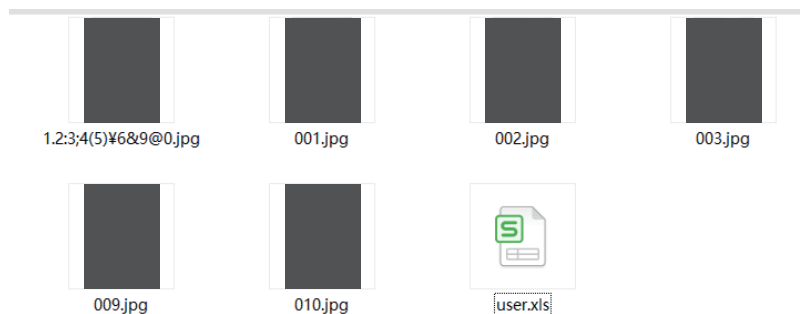
USB メモリーを差し込み、「インポート」「エクスポート」ボタンをタップして、ユーザーのデータのインポート・エクスポートができます。

「インポート」をタップすれば、USB メモリーに保存されたデータがインポートされます。

「エクスポート」をタップすれば、全ユーザーのデータが CSV 形式で USB メモリーのルートディレクトリに保存されます。



ユーザーをエクスポートした後、USB メモリーのルートディレクトリで「user.zip」の圧縮ファイルとして保存されています。その中、ユーザー撮影画像とユーザー情報のエクセルファイルが含まれています。

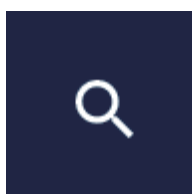


ユーザーID	ユーザー名前	性別	電話番号 (オプション)
001		0	
002		1	
003		1	

5.4 通行記録について

5.4.1 機能説明

利用者の通行データを記録及び管理を行う機能です。



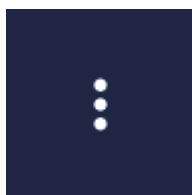
① 「通行記録を検索」

ここで必要な条件を入力し、利用者の通行履歴を検索します。



② 「通行記録を削除」

こちらで特定の通行データを削除します。



③ 「通行記録のエクスポート」

こちらでユーザーの通行履歴データをエクスポートします。

各種設定項目の設定は次のページをご参考ください。

5.4.2 記録の検索方法

「管理画面」から、「通行記録」をタップすれば、通行記録の一覧画面が表示されます。

ユーザー ID、日付範囲を指定して、検索ボタンをタップして、ユーザーの通行記録を検索できます。



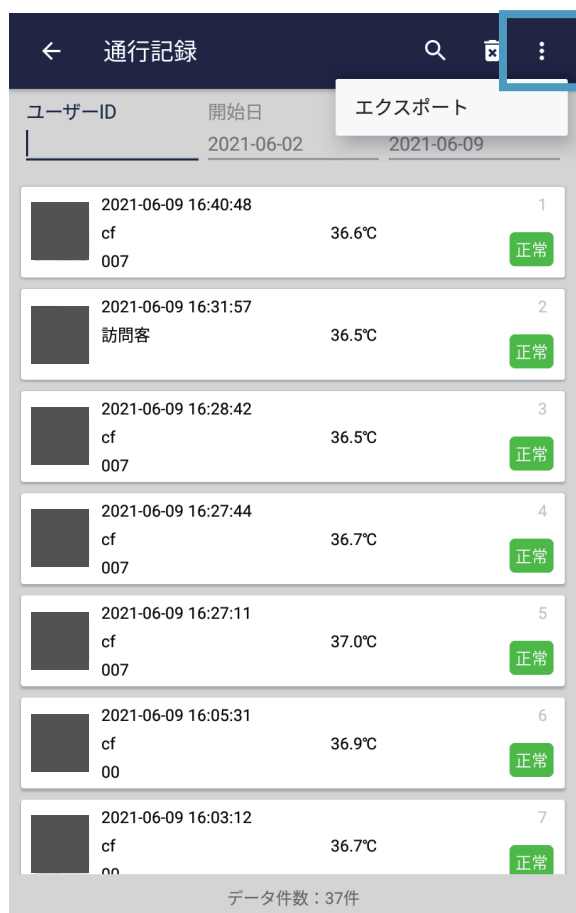
The image shows a transition from the management screen to the access record screen. On the left, the '管理画面' (Management Screen) has a list of options: 'ユーザー管理' (User Management), '通行記録' (Access Record), '顔認証設定' (Face Recognition Settings), '検温設定' (Temperature Settings), 'ソフトウェア設定' (Software Settings), and 'システム設定' (System Settings). The '通行記録' option is highlighted with a blue border. A large black arrow points to the right, where the '通行記録' (Access Record) screen is shown. This screen has a search bar at the top right and a table of records below. The table has columns for 'ユーザーID' (User ID), '開始日' (Start Date), and '終了日' (End Date). The records are listed with their respective times, temperatures, and status (Normal or Abnormal).

ユーザーID	開始日	終了日	時間	温度	状態
	2021-06-18	2021-06-25	2021-06-25 18:40:50	36.1°C	正常
			2021-06-25 18:32:28	37.0°C	正常
			2021-06-25 17:38:06	37.4°C	異常
			2021-06-25 17:03:01	37.0°C	正常
			2021-06-25 16:59:50	37.0°C	正常
			2021-06-25 15:58:50	37.3°C	正常
			2021-06-25 15:46:21	45.4°C	異常

データ件数：150件

5.4.3 記録のエクスポート

USBメモリーを差し込み、「エクスポート」ボタンをタップすれば、ユーザーの通行記録のデータをエクスポートされます。



通行記録をエクスポートした後、USBメモリーのルートディレクトリに「list.xls」というファイルができます。ファイルでは、ユーザーや訪問客の通過時の体温、通過時間などの情報が保存されています。



ユーザーID	ユーザー名前	体温	時間
00		37.3°C	2021-06-10 15:39:12
00		37.4°C	2021-06-10 15:35:41
00		37.3°C	2021-06-10 15:30:37
00		37.2°C	2021-06-10 15:23:53
00		37.3°C	2021-06-10 15:00:11
00	cf	37.3°C	2021-06-10 13:57:02
00	cf	37.2°C	2021-06-10 13:56:01

5.5 顔認証設定について

5.5.1 機能説明

顔認証に関する設定が行えます。



5.5.2 各設定項目の説明

「複数利用者の顔認識」：

撮影範囲内の複数名の利用者に対して、同時に顔認識と検温を行う設定です。OFF の場合は 1 名のみに顔認識と検温を行います。

「未登録の方の場合、警告をしない」：

顔が登録されていない訪問客と認識されると、設定が ON の場合、一切警告しません；設定が OFF の場合、警告します。

「通行者の撮影をしない」：

OFF の場合、通行履歴に通行者の撮影画像は保存されます。ON の場合、通行者を撮影しません。

5.6 検温設定について


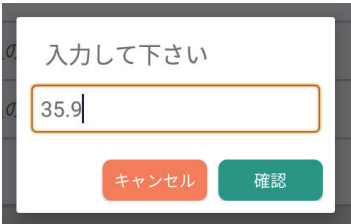

5.6.1 機能説明

検温に関連する設定です。

各種設定項目の説明は次のページをご参考ください。



設定の詳細については、下記の表をご参照ください。

設定項目	説明
体温測定機能	利用者の体温を測定する機能です。 オンにすると、顔認証と同時に検温を行います。
マスク着用要請	利用者のマスク未着用状態が検知された場合、着用の要請音声を流します。
温度単位	摂氏度 (° C) と華氏度 (° F) が選択できます。 
適正体温の下限值	下限値を下回る低体温を検知した場合、異常体温と判定し、警告をします。 
適正体温の上限値	上限値を超える高体温を検知した場合、異常体温と判定し、警告をします。 

5.7 ソフトウェア設定について

5.7.1 機能説明

本ソフトウェアに関する管理者パスワード、言語、案内音声、LOGO、スクリーンセーバーとソフトウェア更新の設定が行えます。

5.7.2 管理者パスワードの変更

管理者パスワードを設定する機能です。

古いパスワードは認証用に一回入力して、新しく設定したいパスワードを二回入力して、「保存」をタップすればパスワードが変更されます。



5.7.3 言語の切替

ソフトウェアの表示言語の切り替えを行います。

使用したい言語を選択して、「次のステップ」をタップすれば、表示言語が変更されます。



5.7.4 案内モード - ①

検温時、案内の音声の選択とカスタマイズができます。

「効果音」：（例）異常体温が検出された時、サイレンのような効果音が流れます。

「音声案内」：（例）異常体温が検出された時、「体温は異常です」という音声流れます。

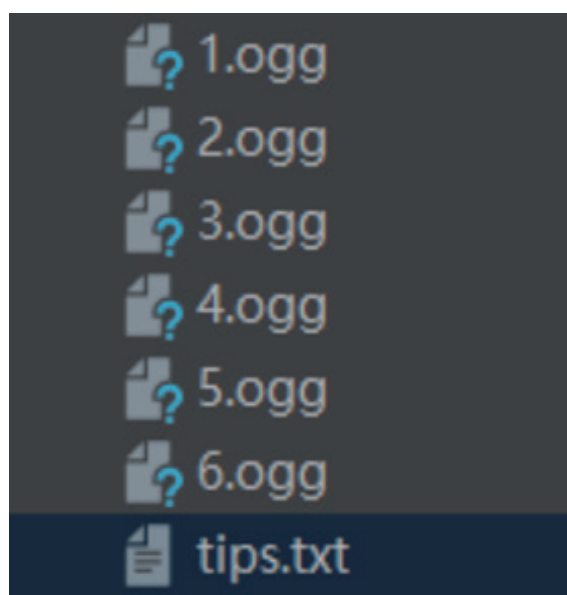
「カスタマイズ」：案内音のカスタマイズができます。手順は以下の説明を参照してください。



5.7.4 案内モード - ②

案内音をカスタマイズする方法：

① USB メモリーのルートディレクトリで「voice」という名のフォルダを作成し、案内音に設定したいメディアファイル（拡張子が .ogg の音声ファイル）を下記のファイル名に入れてください。



- 1.ogg = 「近づいてください」に相応
- 2.ogg = 「マスクを着用してください」に相応
- 3.ogg = 「もう一度検温してください」に相応
- 4.ogg = 「体温は正常です」に相応
- 5.ogg = 「体温は異常です」に相応
- 6.ogg = 「ご通行下さい」に相応

② USB メモリーを製品の USB ポートに差し込み、「ソフトウェア設定」→「案内モード」→「カスタマイズ」をタップすれば、案内音がカスタマイズされます。

5.7.5 LOGO の表示

「LOGO を変更」をオンにすれば、設定された LOGO が検温画面の下部に表示されます。オフにすれば、LOGO が表示されません。

LOGO をカスタマイズする方法：

- ①サイズが 196px × 196px 以内の PNG 画像を用意して、「logo.png」と命名し、USB メモリーのルートディレクトリに保存します。
- ② USB メモリーを製品の USB ポートに差し込み、「ソフトウェア設定」→「LOGO」→「確認」をタップすると、LOGO のカスタマイズは完了です。



「?」をタップすれば説明が表示されます

5.7.6 スクリーンセーバー

この項目を ON にすると、デフォルトで 30 秒を経過して顔が検知されていない場合、カスタマイズしたスクリーンセーバー画像が表示されます。OFF にすると、デフォルトのスクリーンセーバー画像が「検温・手の消毒にご協力ください」と表示されます。

なお、スクリーンセーバー待ち時間は必要に応じて調整できます。
※待ち時間を「99999999」に設定すれば、スクリーンセーバーは表示されません。

スクリーンセーバー待ち時間(秒) 30 >

スクリーンセーバーをカスタマイズする方法：

- ① png 形式の画像ファイル（800*1280px または 1080*1920px）のファイル名を「screenSaver.png」に変更し、USB メモリーのルートディレクトリに保存します。
- ② USB メモリーを製品の USB ポートに差し込み、「ソフトウェア設定」→「スクリーンセーバーを読み込む」→「確認」をタップすれば、スクリーンセーバーが変更されます。



「❓」をタップすれば説明が表示されます

5.7.7 ソフトウェアの更新（オンライン）

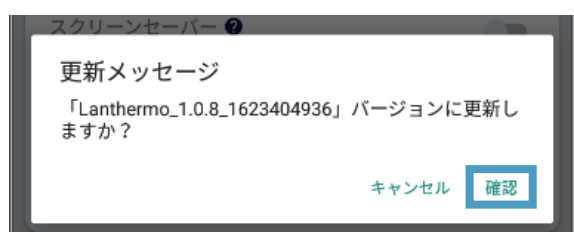
オンラインでソフトウェアを更新する方法です。

事前に LANTHERMO をインターネットと接続し、「ソフトウェア設定」→「ソフトウェアを更新」をタップして、ソフトウェア更新方法の選択画面が表示されます（左図）。ここでは「オンラインで」を選択します。

すでに最新版に更新されている場合、画面の底部で「すでに最新バージョン」が表示されます。（右図）



最新のバージョンに更新していない場合、「更新メッセージ」で「確認」（左図）をタップすれば、ソフトウェアが更新されます。



5.7.7 ソフトウェアの更新（ローカル）

ローカルでソフトウェアを更新する方法です。

事前に更新用の apk ファイルのファイル名を「update.apk」に変更し、USB メモリーのルートディレクトリに保存して、USB メモリーを装置の USB ポートに差し込み、「ソフトウェア設定」→「ソフトウェアを更新」→「確認」をタップすれば、ソフトウェアがインストールされます。（右図：USB メモリーを差し込んでない場合、注意事項を表示します）



注意事項：

ソフトウェアを更新後、LANTHERMO 内のユーザー情報と通行記録がリセットされる場合があるため、更新前は必ずバックアップしてください。

ユーザー情報のバックアップは「4.3 ユーザーデータのインポート・エクスポート」（P.13）を参照し、更新前はデータをエクスポートして、更新後はデータをインポートすると、通常通り使用できます。

通行記録のバックアップは「5.2 記録のエクスポート」（P.15）を参照して、データ損失防止のため、更新前は通行記録をバックアップしてください。

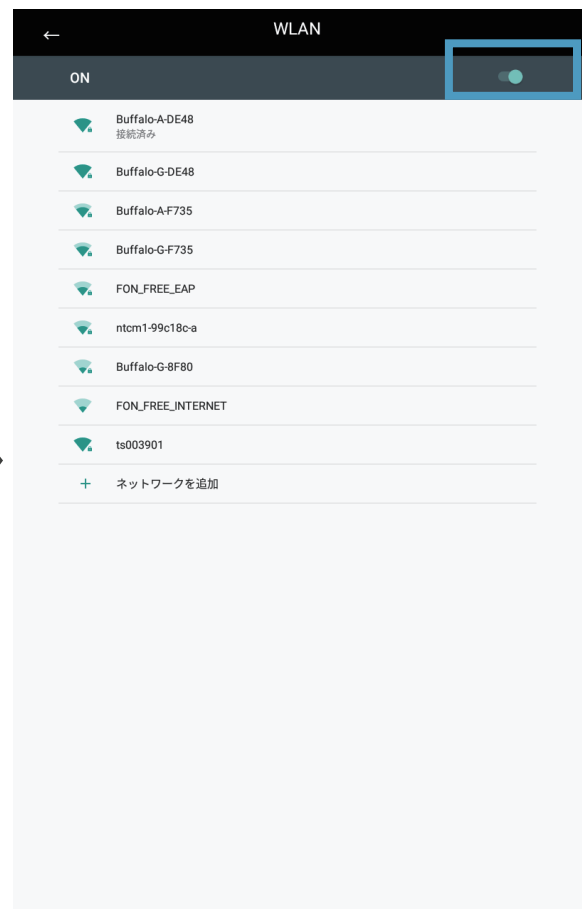
5.8 システム設定について

管理画面で「システム設定」をタップすれば、システムに関連する設定が行えます。

5.8.1 Wi-Fi

「Wi-Fi」設定は、ソフトウェアのオンライン更新、ソフトウェアのクラッシュログをアップロードするためのインターネットへの接続設定を行います。

「Wi-Fi」をタップすれば、Wi-FiのON/OFFの切り替え、接続するデバイスが設定できます。



5.8.2 有線 LAN

有線 LAN ケーブル経由でインターネットへの接続設定を行います。

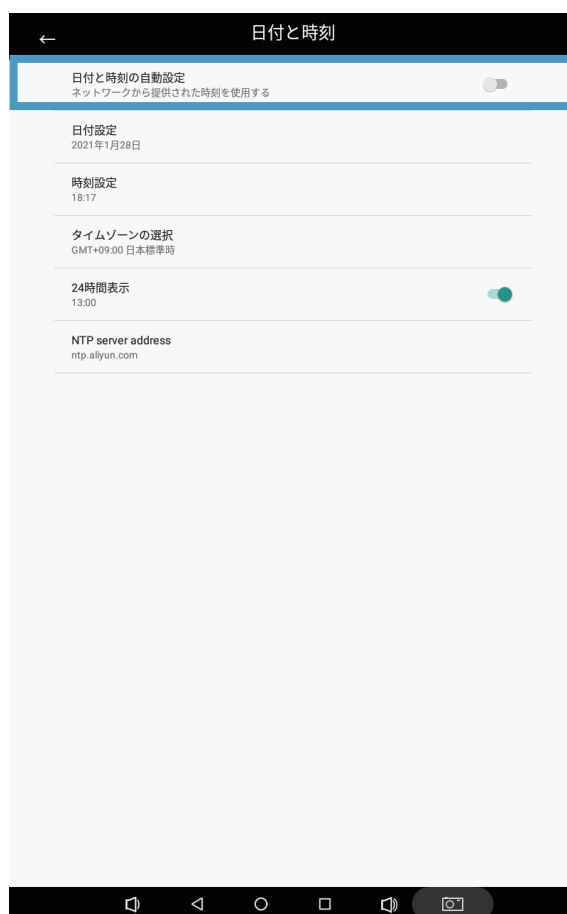
「有線 LAN」項目は、有線 LAN の接続状態を表示します。



5.8.3 システム日付と時刻 - ①

この項目をタップして、日付と時刻、表示方法の設定ができます。

インターネットに接続されていない場合、「日付と時刻の自動設定」をオフにして、日時を手動で設定する必要があります。



5.8.3 システム日付と時刻 - ②

「日付と時刻の自動設定」を OFF にすれば、画面は以下の左図になります。

最初に「タイムゾーンの選択」を行ってください。

「日付設定」をタップすれば、右図のように、現在の年月日を設定してください。



「時刻設定」をタップし、下記のように、現在の時刻に設定してください。

先に表示されるのが「時」です（左図）

正確な時間（時）を選択し、刻（分）の選択します。

右下の「OK」をタップすれば、時刻の設定が完了です。



時



分

5.8.4 システム音量と画面の明るさ

音量：

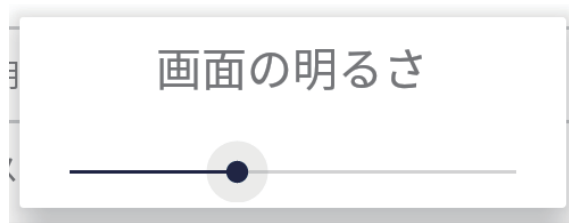
システム設定で「音量」をタップすれば、出てくるボックスで音量の調整が行えます。

（左にドラッグすると音量が小さくなる；右にドラッグすると音量が大きくなる）

画面の明るさ：

システム設定で「画面の明るさ」をタップすれば、出てくるボックスで画面の明るさの調整が行えます。

（左にドラッグすると画面が暗くなる；右にドラッグすると画面が明るくなる）



5.8.5 デバイス情報

「デバイス情報」をタップして、ソフトウェアのバージョン、システムバージョン、Wi-Fi MAC アドレスなどの情報が確認できます。



6 製品仕様

6.1 仕様一覧

検温

検温方式	非接触赤外線形式
体温測定の誤差 (35~40℃区間)	± 0.3℃以内
マスク着用要請機能	あり

検温機本体及びプロセッサ等

筐体材質	アルミニウム合金
寸法	239×134×20.6mm
OS	Android 7.1.2
CPU	6 コア Cortex-A72×2 Cortex-A53×4
メモリ	2GB
ストレージ容量	16GB

ディスプレイ

スクリーンサイズ	8 インチ
解像度	1280×800 px
タッチパネル	静電容量式

カメラ

内蔵カメラ	カラーカメラ× 1 基 赤外線カメラ× 1 基
解像度	1280×800 px
フィルライト	あり
サーモグラフィ カメラ	160×120 px

音声

スピーカー	2 基
-------	-----

インターフェース

Wi-Fi (無線 LAN)	あり
有線 LAN	100Mbps
USB ポート	1 個

セット内容

本体タブレット	1 台
スタンド (2 種類： 標準、卓上型)	1 台
本体用 AC アダプター (12V)	1 個
AC 電源ケーブル	1 本
消毒液ディスペンサー	1 台 (標準スタン ドのみ)
消毒液ディスペンサー 用 AC アダプター (6V)	1 個
取扱説明書、保証書	1 式

電源及びその他

電源	入力 DC12V/1. 8A
動作温度	-10℃~ 60℃
推奨動作温度 (検温 機能を使用時)	10℃~ 30℃

オプション

USB メモリー	1 本
----------	-----

通行履歴の保存について

最大記録件数	65,535 件
保存期間	最大 366 日間

※仕様は予告なく変更される場合があります
※本製品は医療機器ではありません。